

原油ETF証拠金取引 WEEKLY REPORT

2024/01/09号

マーケットエッジ株式会社 小菅努



【現状確認】



(出所)Refinitivよりマーケットエッジ作成

70ドル台前半で売買が交錯

NY原油先物相場は、1バレル=70ドル台前半をコアに売買が交錯する展開になった。年初の取引では、紅海の原油流通懸念の後退や根強い需要不安を背景とした売り圧力が強く、69.28ドルまで下落した。米金利上昇・ドル高圧力が強まったことも嫌気されている。しかし、その後はリビアの生産障害の報、改めて中東情勢の緊迫化が警戒されたことを手掛りに、73ドル台後半まで切り返す展開になった。

年末年始を挟んで中東情勢は一段と緊迫化している。イスラエルのガザ地区に対する攻撃が激しさを増していることに加えて、ヒズボラなど周辺のイスラム組織との戦闘も激化している。また、武装組織フーシ派が紅海で船舶に対する攻撃を激化させており、原油流通に対する懸念も強くなっている。米国などが航行の安全確保に動き始めているが、海運会社は紅海における航行を停止、再開、再び停止と短期間で方針転換を余儀なくされる混乱状態になっている。結果的に70ドル台前半をコアとした取引が続いた。

米エネルギー情報局 (EIA) 発表の米石油在庫 (12月29日時点) は、原油が前週比550万バレル減、ガソリンが1,090万バレル増、石油精製品が1,009万バレル増となった。

本資料のご利用については、必ず巻末の重要事項 (ディスクレマー) をお読み下さい。

原油ETF証拠金取引 WEEKLY REPORT

【展望】

70ドル台前半での売買交錯が続く、短期売買での対応が基本に

70ドル台前半をコアとした取引が続く見通し。需要不安の上値圧迫が続く一方、中東情勢が一段と不安定化していることが下値を支える展開が続こう。年初から石油輸出国機構（OPEC）プラスの自主減産が強化されていることもポジティブ。70ドル割れだと物色妙味が浮上する一方、75～80ドルのレンジでは上値を抑えられる可能性が高く、短期売買が中心の地合になる見通し。

年末年始を挟んで中東情勢は一段と緊迫化、不安定化している。原油流通問題も解消されておらず、特に石油タンカーが攻撃を受けるような事態になると、瞬間的に70ドル台後半まで値上がりする可能性もある。ただし、実際に原油生産障害が発生しないのであれば、地政学リスクのみで急伸することは難しいだろう。下値サポート要因との評価に留めたい。

一方、需給のタイト感は乏しい。米原油在庫は昨年末に向けて大きく減少したが、石油製品在庫は逆に急増している。末端の石油需要が依然として弱含みに推移していることが窺える。1月下旬の寒波予報で天然ガス相場が安値修正の動きを強めているが、原油相場に対する影響は限定される可能性が高い。また、2023年に続いて24年も非OPECからの増産圧力が強力とみられている。米国、カナダ、ブラジル、ガイアナなどの増産もあり、マクロ需給環境からは本格的に買い進むようなテーマは欠いた状態が続こう。

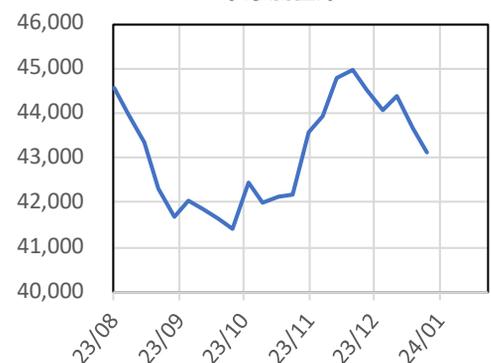
年初から米金利上昇・ドル高圧力が強くなっていることはネガティブ。11日に12月米消費者物価指数が発表されるため、更にドル高が続くか否かに注目したい。また、10日に発表される米在庫統計を受けて、需要リスクを蒸し返す動きがみられるかも重要だろう。

(枚) NY原油先物 大口投機筋ネット建玉



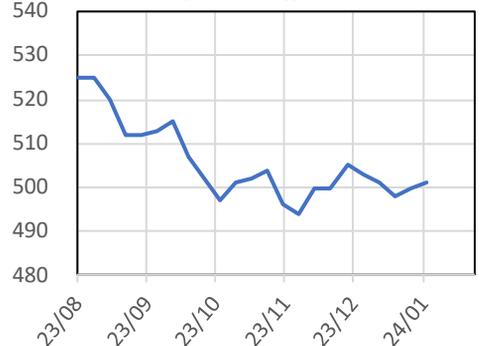
(出所) CFTCよりマーケットエッジ作成

(万バレル) 米原油在庫



(出所) EIAよりマーケットエッジ作成

(基) 米石油リグ稼働数



(出所) Baker Hughesよりマーケットエッジ作成

本資料のご利用については、必ず巻末の重要事項（ディスクレマー）をお読み下さい。

【ディスクレーマー（免責条項）】

本レポートは、本取引所がマーケットエッジ株式会社から提供を受けて、公表しているものであり、本レポートの内容に関する一切の権利は、マーケットエッジ株式会社に帰属いたします。本取引所は、本レポートの正確性、完全性、適時性等を保証するものではありません。また、本取引所は、本レポートを用いて行う一切の行為及び本レポートに基づいて被った損害について、何ら責任を負うものではありません。

株式会社東京金融取引所

本レポートは、マーケットエッジ株式会社（以下、弊社）が、投資判断の参考となる情報提供を目的に作成したものです。金融商品売買の勧誘を目的としたものではありません。投資に関する最終決定は、投資家ご自身の判断で行って下さい。本レポートは、弊社が信頼できると判断した情報源からの情報に基づき作成したのですが、情報の正確性、安全性を保証するものではありません。また、本レポートに記載された見解や予測は、本レポート発行時における弊社の判断であり、全部または一部が予告なしに変更されることがあります。本レポートを使用することに生ずるいかなる種類の損失についても、弊社は責任を負いません。本レポートの著作権は、原則として弊社に帰属いたします。本レポートにおいて提供される情報に関して、弊社の承諾を得ずに、当該情報の複製、販売、表示、配布、公表、修正、頒布または営利目的での利用を行う権利を有しません。

【会社名】 マーケットエッジ株式会社（Marketedge Co., Ltd.）

【所在地】 〒103-0014 東京都中央区日本橋蛸殻町1-18-1（古川ビル4F）

【URL】 <https://www.marketedge.co.jp/>

【電話】 TEL : 03-6661-9498 【E-mail】 info@marketedge.co.jp

小菅努（こすげ・つとむ）プロフィール

1976年千葉県生まれ。筑波大学社会学類卒。商品先物会社の営業本部、ニューヨーク事務所駐在、調査部門責任者を経て、2016年にマーケットエッジ株式会社を設立、代表に就任。金融機関、商社、事業法人、メディア向けのレポート配信、講演、執筆などを行う。

最新情報は
ツイッターで

